

地理歴史科・公民科（歴史総合）学習指導案

1 単元名 第一次世界大戦がもたらしたもの

この単元は、「2 内容」の「C 国際秩序の変化や大衆化への問い」の「(2) 第一次世界大戦と大衆社会」に該当する。

2 単元目標

- (1) 第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相について理解する。
- (2) 第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取る技能を身に付ける。
- (3) 第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相を多面的・多角的に考察し，表現する。
- (4) 第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

3 単元計画(全体6時間)

(1) 指導計画

- ・ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 1時間
- ・総力戦となった第一次世界大戦 2時間（本時2/2）
- ・ロシア革命と民族の問題 1時間
- ・ウィルソンとヴェルサイユ体制 1時間
- ・第一次世界大戦後の列強 1時間

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相について理解している。</li> <li>・第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取る技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相などを多面的・多角的に考察し，表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義，20世紀初頭の変化の様相について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」，●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (1)	【学習課題】〈単元を貫く問い〉「第一次世界大戦はどのような戦争だったのか。また戦後の世界にどのような影響を与えたのか。」						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張</li> </ul>	<p>【ねらい】第一次世界大戦に対する興味を高めるとともに，第一次世界大戦の開戦の背景である列強の対立構造に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明を聞いて，板書をワークシートに記入する。</li> </ul>	○		●	<ul style="list-style-type: none"> <li>(B) 列強の対立構造(同盟国と協商国の対立や対立が激化するバルカン半島の様相)について記述している。</li> <li>(C) ワークシートに個別の助言を記入するなどの支援を行う。</li> <li>【知】 5(1)参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート①の記述を基に評価する。</li> <li>・学習成果を統合・活用するテストを行い評価する。(評価問題①)</li> </ul>

第2次 (2)	<p>【学習課題】〈問い〉「第一次世界大戦はどのような経過をたどり、どのような結果となったのか。」</p> <p>・総力戦となった第一次世界大戦(1)</p>	<p>【ねらい】教科書の記述や諸資料を基に、第一次世界大戦の経過と結果について理解する。</p> <p>・教師の説明を聞いて、板書をワークシートに記入する。</p>	○		●	<p>(B) 第一次世界大戦の経過と結果について記述している。</p> <p>(C) ワークシートに個別の助言を記入する。</p> <p>【知】 5 (2)参照</p>	<p>・ワークシート②の記述を基に評価する。</p> <p>・学習成果を統合・活用するテストを行い評価する。 (評価問題②)</p>
第2次 (3)	<p>【学習課題】〈問い〉「第一次世界大戦の今までの戦争との違いは何か。」</p> <p>・総力戦となった第一次世界大戦(2)</p>	<p>【ねらい】教科書の記述や諸資料を基に、第一次世界大戦が総力戦となった背景を考察する。</p> <p>・資料を基に自分の考えをワークシートに記述する。</p> <p>・グループワークを行う。</p>	○		●	<p>(B) 第一次世界大戦が総力戦となった背景について、さまざまな立場の人の役割や態度の変化に着目して教科書や資料集の記述や自分で準備した資料などを基に自分の意見を記述している。</p> <p>(C) ワークシートに個別の助言を記入する。</p> <p>【思】 5 (3)参照</p>	<p>・ワークシート③(1)(2)の記述を基に評価する。</p> <p>・ワークシート③(3)の記述を基に評価する。</p>
第3次 (4)	<p>【学習課題】〈問い〉「どのようにロシア革命が成功し、ソ連が成立したのか。」</p> <p>・ロシア革命と民族の問題</p>	<p>【ねらい】教科書の記述や諸資料を基に、ロシア革命の経過と結果、その影響について理解する。</p> <p>・教師の説明を聞いて、板書をワークシートに記入する。</p>	○		●	<p>(B) ロシア革命について、勃発の契機となった事件やその後の経過、外国の革命に対する干渉や革命の外国への影響などを記述している。</p> <p>(C) ワークシートに個別の助言を記入する。</p> <p>【知】 5 (4)参照</p>	<p>・ワークシート④の記述を基に評価する。</p> <p>・学習成果を統合・活用するテストを行い評価する。 (評価問題③)</p>
第4次 (5)	<p>【学習課題】〈問い〉「国際協調はどのような過程で成立したのか。」</p> <p>・ウィルソンとヴェルサイユ体制</p>	<p>【ねらい】教科書の記述や諸資料を基に、国際協調の経過と影響、主な内容について理解する。</p> <p>・教師の説明を聞いて、板書をワークシートに記入する。</p>	○		●	<p>(B) 国際協調について、協調体制の経過や世界への影響、実態と問題点などを記述している。</p> <p>(C) ワークシートに個別の助言を記入するなどの支援を行う。</p> <p>【知】 5 (5)参照</p>	<p>・ワークシート⑤の記述を基に評価する。</p> <p>・学習成果を統合・活用するテストを行い評価する。 (評価問題④)</p>

第5次 (6)	【学習課題】<問い>「第一次世界大戦の前後でどのように社会は変化したのか。」			○	【態】5(6)参照	・ワークシート⑥の記述を基に評価する。
	・第一次世界大戦後の列強	【ねらい】第一次世界大戦後の世界の様相をまとめるとともに、単元冒頭の問いへの答えを、学習成果を踏まえて考え、学習を振り返る。 ・今までの学習内容を基に考察し、自分の考えをワークシートに記入する。				

#### 4 本時の指導と評価の計画

##### (1) 本時の目標

ア 第一次世界大戦が総力戦となった背景について、さまざまな立場の人の役割や態度の変化に着目し、配付された資料、さらに教科書や資料集の記述や自分で準備した資料などを基に考察し、さまざまな立場の視点を取り入れ、自分の意見を記述する。

##### (2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・第一次世界大戦の経緯と結果	・前回までのワークシートを調べる。 ・隣の生徒とペアワークを行い、自分の考えを発表する。 ・指名された生徒は全体で発表する。	・生徒全体に対して発問する。 ・適宜、机間指導を行い、困っている生徒に助言する。 ・前回までのワークシート及び教科書等の該当箇所を見るよう助言する。
展開	・第一次世界大戦の概観  ・第一次世界大戦の特色(総力戦)について考察	・教科書の記述や教師の説明を聞いて、第一次世界大戦の特色(総力戦)について、戦死者数に着目して、過去の戦争と比較しながら理解する。 ・第一次世界大戦は、過去の戦争と比較して、指定された立場の人たちの役割や態度がどのように変化したのか、配付された資料を基に自分の意見を記述する。  ・指定された立場が同じ生徒で集まり、意見を発表し合い、さらに考えを深める。 ・第一次世界対戦における指定された立場の人たちの役割や態度に関して、彼らの義務感と期待感について配付された資料、教科書・資料集・スマートフォンなどを使用して情報を収集し、グループで考察する。 ・指定された立場が混在したグループをつくり、義務感と期待感について意見を発表し合う。	・戦争における戦死者数のグラフと教科書の記述に着目させ、第一次世界大戦の特色(総力戦)の概観について説明する。  ・任意で五つの立場を事前に指定し、事前に情報収集する課題を課す。 ・適宜、机間指導を行い、困っている生徒に対して教科書や資料集の注目するところを助言する。 ●ワークシート③(1) 【主体的に学習に取り組む態度】 ●ワークシート③(2) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適宜、机間指導を行い、困っている生徒に着目するところを助言する。  ・適宜、机間指導を行い、困っているグループに助言する。
まとめ	・第一次世界大戦の特色(総力戦)のまとめ	・第一次世界大戦の特色(総力戦)について本時の活動を振り返り、自分の考えを記述する。	○ワークシート③(3) 【思考・判断・表現】 ・各生徒が考察した五つの立場について触れながら、全体の共通認識をもたせる。

##### (3) 本時の評価規準(「5 評価問題(評価材料)及び評価規準」の(3)参照)

5 評価問題（評価材料）及び評価規準

(1) 評価問題①【知識・技能】

- ・第一次世界大戦の開戦にはどのような背景があったのか。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

- ・列強の対立構造（同盟国と協商国）について理解している。

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

- ・列強の対立構造（同盟国と協商国）について理解し、またバルカン半島の様相も理解している。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導

- ・列強の対立構造（同盟国と協商国）について理解できなかった。→個別に助言を記入する。

(2) 評価問題②【知識・技能】

- ・第一次世界大戦はどのような経過をたどり、どのような結果となったのか。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

- ・第一次世界大戦の経過と結果について大まかに理解している。

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

- ・第一次世界大戦の経過と結果について詳細に理解している。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導

- ・第一次世界大戦の経過と結果についてほとんど理解できなかった。  
→個別に助言を記入する。

(3) ワークシート③(3)【思考・判断・表現】

- ・第一次世界大戦の今までの戦争との違いは何か。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

- ・第一次世界大戦の特色（総力戦）の背景について、資料に基づき、指定された立場の視点を取り入れ、自分の考えをまとめワークシートに記述している。

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

- ・第一次世界大戦の特色（総力戦）の背景について、多様な資料に基づき、さまざまな立場の視点を取り入れながら、自分の考えをまとめワークシートに記述している。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導

- ・第一次世界大戦の特色（総力戦）の背景について、自分の意見をまとめることができず、ワークシートに記述できなかった。  
→個別に助言を記入する。

(4) 評価問題③【知識・技能】

- ・どのようにロシア革命が成功し、ソ連が成立したのか。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

- ・ロシア革命の勃発の契機となった事件やその後の経過について理解している。

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

- ・ロシア革命の勃発の契機となった事件やその後の経過、さらに外国の革命に対する干渉や革命の外国への影響について理解している。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導

- ・ロシア革命の勃発の契機となった事件やその後の経過についてほとんど理解できなかった。  
→個別に助言を記入する。

(5) 評価問題④【知識・技能】

・国際協調はどのような過程で成立したのか。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

・第一次世界大戦後の協調体制の経過や世界への影響について理解している。

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

・第一次世界大戦後の協調体制の経過や世界への影響、また実態と問題点について理解している。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導

・第一次世界大戦後の協調体制の経過についてほとんど理解できなかった。→個別に助言する。

(6) ワークシート⑥【主体的に学習に取り組む態度】

・第一次世界大戦の前後でどのように社会は変化したのか。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

・単元を振り返って、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

・単元を振り返って、さらに調べたいことや、よく分からなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。

「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導

・単元は振り返ったが、これからの学習にはまだ意欲的に取り組もうとしていない。→個別に助言する。

6 成果と課題

第一次世界大戦を多面的・多角的に考察させる中で、男性・女性・植民地からの視点を示すことはこれまでも実践してきた。そのような中で今回は扱ったことが無かった資本家・社会主義者という視点を追加して考察させ、今まで以上に第一次世界大戦に対して生徒たちに深く考えさせることができた。多くの生徒がワークシートの最後の問いにおいて、多様な視点から第一次世界大戦についてのまとめを記述できた。さらに、教科書を中心とした学習に終始しがちな中で、教科書に載っていない資料を基に考えたことによって、生徒たちの学習に刺激を与えることができた。

また、今回の授業において、資本家・社会主義者については、取っ掛かりが難しいことが予想されたので、他の視点より多くの助言をして活動の支援をした。しかし、社会主義者の視点は配付された資料の内容が理解できず、ワークシートへの記入に苦戦している生徒が多く、グループワークに移っても活動が中断したりする場面もあった。既習事項である社会主義思想の知識・理解が不十分であったことが考えられる。一方、資本家については配付された資料の内容を理解するのが早く、ワークシートへの記入、グループワークが活発に行われた。今回の授業で、社会主義思想が生徒たちにとっていかに難しいかということを確認し直すきっかけとなった。

さらに、今回の授業では、思考を広げる目的で問いの設定を抽象的な表現にとどめた。しかし、これによって問いに対する解答が、感情だけを記述した生徒と客観的な事実のみを記述した生徒とさまざまであったため、評価がしづらかった。記述で客観的な評価をするために、もう少し記述内容を方向付けるように問いを工夫する必要がある。また、問いに対する解答を生徒が記述しやすいようにマス目を設定したが、予想以上に生徒たちは多くのことを記述しようとしたため、内容を途中で無理やりマス目の範囲内に収めた解答がいくつかあった。多様な視点を記述するというねらいからも、マス目をもっと広く設定してもよかった。今後に生かしたい。

7 参考文献

- ・『ニューステージ世界史詳覧』（浜島書店）
- ・『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）
- ・『明解歴史総合』（帝国書院）
- ・『詳述歴史総合』（実教出版）
- ・『新詳歴史総合』（浜島書店）

- ・『問いからはじまる歴史総合』とうほう
- ・『世界史の散歩路 史料が語る世界の歴史』（綿引弘, 聖文新社, 1989 年)
- ・『新 世界史 資料集』（福島県高等学校世界史学習資料集編纂委員会, 清水書院, 1993 年)
- ・『第一次世界大戦』（木村靖二, 筑摩書房, 2014 年)
- ・『「歴史総合」の授業』（歴史教育協議会, 大月書店, 2020 年)